

道徳における資料選定について

About selection of materials in morality

森近 利寿¹

¹ISNA日本スノーズレン総合研究所

Toshihisa Morichika¹

¹ISNA Japan Snoezelen Research Institute

6-1 Yayoi-cho, Shrugaku-ku, Shizuoka, Japan 422-8581

キーワード：道徳，資料選定，漫画

Key words : Moral, Material selection, Comic

抄録

文部科学省は指導要領の改訂に伴い、道徳が教科となり特別な教科道徳となった。道徳を教科化した目的には生きるための考え方の礎になるべき道徳を教育内容の中心になるように位置づけ、決して軽んじられることなく行われたいとけいとして教科化したものである。しかし、学校は、決して軽んじたわけでも、地域性をもって忌避的なイメージをもっていたわけでもない。道徳の教科性として授業を実践するのに、とても困難で、教科担任というわけにはいかず、学級担任になれば、必然的に道徳を担当することになり、学級担任としての業務もあり、道徳の果てしない教材研究が追い付かないのが現状であると考えられる。文部科学省の読書資料は道徳内容の準拠で使いやすいが、生徒の生活実態として理解することが困難なものもあるかもしれないと考えられる。そこで、本稿ではまず、ある図書館の漫画の蔵書の中で道徳の教材資料として採用できそうなものを提示する。次に、道徳内容に従った教材研究の方向性及び生徒により浸透しやすく理解しやすい道徳内容の教材資料を示し、教材資料の選定の一提案とするものである。

1. はじめに

文部科学省（2015）では我が国の教育は、教育基本法第1条に示されているとおり「人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われるものである。」とあり、人格の完成及び国民の育成の基盤となるものが道徳性であり、その道徳性を育てることが学校教育における道徳教育の使命である。「道徳教育の充実に関する懇談会」報告（2013）では、道徳教育について「自立した一人の人間として人生を他者とともにより良く生きる人格を形成することを目指すもの」と述べられている。道徳教育においては、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を前提に、人が互いに尊重し協働して社会を形作っていく上で共通に求められるルールやマナーを学び、規範意識などを育むとともに、人としてよりよく生きる上で大切なものとは何か、自分はどのように生

きるべきかなどについて、時には悩み、葛藤しつつ、考えを深め、自らの生き方を育んでいくことが求められる。さらに、今後グローバル化が進展する中で、様々な文化や価値観を背景とする人々と相互に尊重し合いながら生きることや、科学技術の発展や社会・経済の変化の中で、人間の幸福と社会の発展の調和的な実現を図ることが一層重要な課題となる。こうした課題に対応していくためには、社会を構成する主体である一人一人が、高い倫理観をもち、人としての生き方や社会の在り方について、時に対立がある場合を含めて、多様な価値観の存在を認識しつつ、自ら感じ、考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を目指す資質・能力を備えることがこれまで以上に重要であり、こうした資質・能力の育成に向け、道徳教育は、大きな役割を果たす必要がある。このように、道徳教育は、人が一生を通じて追求すべき人格形成の根幹に関わるものであり、同時に、民

主的な国家・社会の持続的発展を根底で支えるものでもある。また、道徳教育を通じて育成される道徳性、とりわけ、内省しつつ物事の本質を考える力や何事にも主体性をもって誠実に向き合う意志や態度、豊かな情操などは、「豊かな心」だけでなく、「確かな学力」や「健やかな体」の基盤ともなり、「生きる力」を育むために極めて重要なものである。我が国の学校教育において道徳教育は、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行うものとされてきた。これまで、学校や生徒の実態などにに基づき道徳教育の重点目標を設定し充実した指導を重ね、確固たる成果を上げている学校がある一方で、例えば、歴史的経緯に影響され、いまだに道徳教育そのものを忌避しがちな風潮があること、他教科に比べて軽んじられていること、読み物の登場人物の心情理解のみに偏った形式的な指導が行われる例があることなど、多くの課題が指摘されていると捉えている。

教育現場として、地域により道徳に対する忌避的な風潮もあったのも否定はできなと思われるが、また、決して軽んじていたわけではなく、道徳という教科では、本田（2017）は「道徳の時間」に扱う内容は数学や理科などと違って、知らないことを知るというものではない。多くは子供たちがすでに道徳的なことについてある程度知っている。例えば人の物を盗ってはいけない、人を傷つけてはいけない、嘘をついてはいけないなどは人としてしてはいけないことだと分かっている。つまり、授業を始める時点で道徳的価値として分かっているところからスタートするのである。この点をおろそかにすると「効果が分かりづらい」、「指導の仕方がむずかしい」といった感想につながる可能性が高い。そこで教材を何にするかはともかく、子供の精神的発達に合わせて、道徳価値についてより深め、日常の自分に照らし合わせ見つけ直すことが必要である。その具体的方法は後述するが、授業を始める前にテーマの道徳的価値の定義をある程度示し、登場人物の行為をそれに照らして考え、さらに自分の日常に引き寄せて見つけ直すという方法を使うのがよいと考えていると述べている。さらに言い換えると道徳という教科は難しく、教科であれば教科としての教材研究は有期な時間設定ができる。しかし、道徳では授業を行うための価値内容は決まっているものの、授業内容は自由であり、余りにも幅が広く、終わりのない教材

研究をおこなう時間がなく、業務の手前優先順位の早い業務から行われ結果的に道徳は後回しになるということ、世間的には軽んじられているとみられていたのではないかと思われる。そこで、本稿では道徳の教科の特性として困難性のある道徳内容の果てしない教材研究を闇雲に行うのではなく、教材研究の方向性定め、取り分け、道徳的内容に従った教材資料の選定の方向性の一例を提示するものである。

2. 特別な教科道徳についての経緯と基本方針

文部科学省（2015）では、道徳教育は、生徒の人格の基盤となる道徳性を養う重要な役割があることに鑑みれば、これらの実態も真摯に受け止めて、その改善・充実に取り組んでいく必要がある。このため、平成26年2月には、文部科学大臣から、道徳教育の充実を図る観点より、教育課程における道徳教育の位置付けや道徳教育の目標、内容、指導方法、評価について検討するよう、中央教育審議会に対して諮問がなされた。その結果同年3月から道徳教育専門部会が設置され、教育課程部会、総会での10回に及ぶ審議を経て、同年10月に「道徳に係る教育課程の改善等について」答申が報告された。この答申では、①道徳の時間を「特別の教科 道徳」（仮称）として位置付けること、②目標を明確で理解しやすいものに改善すること、③道徳教育の目標と特別の教科 道徳（仮称）の目標の関係を明確にすること、④道徳の内容をより発達の段階を踏まえた体系的なものに改善すること、⑤多様で効果的な道徳教育の指導方法へと改善すること、⑥「特別の教科道徳」（仮称）に検定教科書を導入すること、⑦一人一人のよさを伸ばし、成長を促すための評価を充実すること、などを基本的な考え方として、道徳教育について学習指導要領の改善の方向性が示された。この答申を踏まえ、平成27年3月27日に学校教育法施行規則を改正し、「道徳」を「特別の教科である道徳」とするとともに、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領及び特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の一部改正の告示を公示した。今回の改正は、いじめの問題への対応の充実や発達の段階をより一層踏まえた体系的なものとする観点からの内容の改善、問題解決的な学習を取り入れるなどの指導方法の工夫を図ることなどを示したものである。このことにより、「特定の

価値観を押し付けたり、主体性をもたず言われるままに行動するよう指導したりすることは、道徳教育が目指す方向の対極にあるものと言わなければならない、「多様な価値観の、時に対立がある場合を含めて、誠実にそれらの価値に向き合い、道徳としての問題を考え続ける姿勢こそ道徳教育で養うべき基本的資質である」との答申を踏まえ、発達段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」へと変換を図るものである。改正中学校学習指導要領では、平成27年4月1日から移行措置として、その一部又は全部を実施することが可能となっており、平成31年4月1日から全面実施することとしていると述べられている。

3. 道徳教育の目標

文部科学省(2015)は(「第1章 総則」の「第1 教育課程編成の一般方針」の2 前段)2で、学校における道徳教育は、特別の教科である道徳(以下「道徳科」という。)を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳科はもとより、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、生徒の発達の段階を考慮して、適切な指導を行わなければならない。と述べており、「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」で、第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てると述べている。また、以上のことから教員が道徳の授業に臨む上で、村田(2007)は「学習を構想できなければ、授業はできないからである。特に『道徳』の学習指導案づくりで重要なことは、指導する側の『ねらい』、すなわち『中学生に気づいてほしい、あるいは考えてほしい』ことは何であるかを明らかにし、中学生が『自分とむき合う』道徳の指導とは、どうあればよいかを考えてほしいという点である」と述べている。

4. コールバーグの道徳性発達の6段階

道徳の授業づくりを行う上で、「道徳性発達理

論」を考慮して指導にあたることが大切である。佐藤伸彦(2017)は「コールバーグによる道徳性発達理論は、仮説的に設定された道徳的な葛藤場面(モラルジレンマ)に対する判断とその理由づけをもとに道徳的な価値志向について評定し、3水準6段階の発達段階として定式化したものである。コールバーグにとっての道徳性の発達には、以下のような基本的理解がある。すなわち、コールバーグにとって、人間は能動的・合理的な存在である。また、私たちは、外界を自分なりに一貫したもとして能動的・主体的に認知し、構成化していく。道徳的な「正しさの枠組み」も、有機体と外界との相互作用の中で変化し、構成化され、それに基づき道徳的判断もなされる。そこで、道徳性の発達とは、その理解の変化の過程であり、基本的には合理的・能動的過程と理解される。認知発達理論による構成化は、内外に概念的葛藤や矛盾のない均衡化へと向かうという前提に立ち、自分なりの理解に不均衡が生じれば、均衡を図ろうとする。構成化され、均衡化していく過程は、その有機体が持つ均衡化の傾向と構成化される外界の特徴に規定されるとされ、外界が普遍的構造を備えている場合には、認知発達過程も普遍性を備える。コールバーグは、社会環境にも普遍的構造があり、道徳性発達段階も普遍的であるとしている。ここで、コールバーグは、「ある道徳的な葛藤場面でのどのように行動し、価値を選択するかという道徳的判断の内容と道徳的決定の仕方や道徳的な価値の捉え方という形式を区別すべきとする。そして、内容は文化によって規定されるものである一方、形式は『どの社会にもある自己-他者-社会の関係がより均衡化され、より一貫性と普遍性のある合理的なものになっていく』普遍的な発達段階とされる。」と述べており、道徳の授業を行うにあたり、それぞれの道徳内容で、以上のようなより高い道徳的成長ができるよう授業づくりを行わなければならないと考えられる。

5. 道徳の内容

文部科学省(2017)は指導要領の中で、内容として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要である道徳科においては、以下に示す項目について扱うとしている。中学校では22項目の道徳内容として道徳的価値を文部科学省(2017)は設けている。

A 主として自分自身に関すること

[自主, 自律, 自由と責任]

自律の精神を重んじ, 自主的に考え, 判断し, 誠実に実行してその結果に責任をもつこと.

[節度, 節制]

望ましい生活習慣を身に付け, 心身の健康の増進を図り, 節度を守り節制に心掛け, 安全で調和のある生活をする.

[向上心, 個性の伸長]

自己を見つめ, 自己の向上を図るとともに, 個性を伸ばして充実した生き方を追求すること.

[希望と勇気, 克己と強い意志]

より高い目標を設定し, その達成を目指し, 希望と勇気をもち, 困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること.

[真理の探究, 創造]

真実を大切に, 真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること.

B 主として人との関わりに関すること

[思いやり, 感謝]

思いやりの心をもって人と接するとともに, 家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し, 進んでそれに応え, 人間愛の精神を深めること.

[礼儀]

礼儀の意義を理解し, 時と場に応じた適切な言動をとること.

[友情, 信頼]

友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち, 互いに励まし合い, 高め合うとともに, 異性についての理解を深め, 悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと.

[相互理解, 寛容]

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, それぞれの個性や立場を尊重し, いろいろなもの見方や考え方があることを理解し, 寛容の心をもって謙虚に他に学び, 自らを高めていくこと.

C 主として集団や社会との関わりに関すること

[遵法精神, 公德心]

法やきまりの意義を理解し, それらを進んで守

るとともに, そのよりよい在り方について考え, 自他の権利を大切に, 義務を果たして, 規律ある安定した社会の実現に努めること.

[公正, 公平, 社会正義]

正義と公正さを重んじ, 誰に対しても公平に接し, 差別や偏見のない社会の実現に努めること.

[社会参画, 公共の精神]

社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め, 公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること.

[勤労]

勤労の尊さや意義を理解し, 将来の生き方について考えを深め, 勤労を通じて社会に貢献すること.

[家族愛, 家庭生活の充実]

父母, 祖父母を敬愛し, 家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと.

[よりよい学校生活, 集団生活の充実]

教師や学校の人々を敬愛し, 学級や学校の一員としての自覚をもち, 協力し合ってよりよい校風をつくるとともに, 様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること.

[郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度]

郷土の伝統と文化を大切に, 社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め, 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し, 進んで郷土の発展に努めること.

[我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度]

優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに, 日本人としての自覚をもって国を愛し, 国家及び社会の形成者として, その発展に努めること.

[国際理解, 国際貢献]

世界の中の日本人としての自覚をもち, 他国を尊重し, 国際的視野に立って, 世界の平和と人類の発展に寄与すること.

D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること

[生命の尊さ]

生命の尊さについて, その連続性や有限性なども含めて理解し, かけがえのない生命を尊重すること.

〔自然愛護〕

自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。

〔感動、畏敬の念〕

美しいものや気高いものに感動する心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。

〔よりよく生きる喜び〕

人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることに喜びを見いだすこと。

6. 道徳資料の選定について

八幡(2016)は道徳の教科化をどのように評価するかとは別に、「考える道徳」、「議論する道徳」がどのような性格をもち、それが小学校と中学校の教育にどのように反映していくのか、これを検討することは今後の道徳教育にとって重要な課題であると述べている。しかし、それらの内容を行うためには生徒の道徳資料の内容を理解していなければ、「考える道徳」、「議論する道徳」を行うことができないと考えられる。また、文部科学省(2017)は中学校学習指導要領(改訂29年告示)の「3.教材について」の中で、『(1)生徒の発達の段階や特性、地域の実情等を考慮し、多様な教材の活用に努めること。』とある。さらに道徳教育者に求められるもの、続けて『特に生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題などを題材とし、生徒が問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするような充実した教材の開発や活用を行うこと。』とある、とし、教員の人間性を変えても道徳的価値を身に着けさすことに努力することである。そのために、本田(2017)は「これまで大勢を占めていた道徳用副教材が教科書に変わるようになるが、読み物教材をもとにして子供たちに道徳的価値や生き方について考えることに、大きな変化はないように思う。しかしすべて教科書というわけではなく、DVDや新聞記事など他の資料の活用も必要な場合もあるだろう。そういう意味では道徳の時間の授業を行なうにあたって教材や資料として何を使うかはいくつかの選択肢があり、年間計画の中でどこに何を配置するかの構成によって、教材を魅力あるものに

する効果がある」と述べ、吉田ら(2014)は、ねらいを具体的かつ達成可能なものにし、そのねらいを達成しうる教材を選定することが大切であるとしている。また、榊原(2015)は、「今後の方向性を提案するならば、道徳の教科化に向け、道徳教育をより具体的に行動レベルで論じていくことであろう。そうすることにより、それぞれの研究者や教師が同じ視点で語ることが可能になるからである」と述べている。そこで、道徳授業は、生徒の考える場であり、議論する場であるということである。生徒立場に立って考えることや議論することができるように教員は道徳授業を創造しなければならぬと考えられる。そのために最も大切にするのは、授業の流れを創る教材資料創りである。

7. 道徳内容に従って漫画を使った道徳資料

以下、漫画には著作権があり、道徳内容に対してタイトルのみ表示する。なお、これらは、教材の方向性を定めるものでほんの1例であり、強制的なものではない。また作品の同作者の関連作品も該当する可能性があるかもしれないと考えられる。

内 容 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要である道徳科においては、以下に示す項目について扱う。

A 主として自分自身に関すること

〔自主、自律、自由と責任〕 〔節度、節制〕 〔向上心、個性の伸長〕 〔希望と勇気、克己と強い意志〕 〔真理の探究、創造〕

名探偵コナン・青山剛昌・小学館
Y A I B A・青山剛昌・小学館
そふてにっ・あづち涼・マッグガーデン
ショートプログラム・あだち充・小学館
日当たり良好・あだち充・小学館
タッチ・あだち充・小学館
みかん・絵日記・安孫子三和・白泉社
銀の匙・荒川弘・小学館
キャンディ・キャンディ・いがらしゆみこ・講談社
もやしもん・石川雅之・講談社
ピアノの森・一色まこと・講談社
かなもめ・石見翔子・芳文社

リアル・井上雄彦・集英社
 スラムダンク・井上雄彦・集英社
 7人のナナ・今川泰宏・秋田書店
 コボちゃん・植田まさし・芳文社
 クッキングパパ・うえやまとち・講談社
 オコジョさん・宇野亜由美・白泉社
 3月のライオン・羽海野チカ・白泉社
 ハチミツとクロバー・羽海野チカ・白泉社
 仏ガチャンヨク・浦川まさる・集英社
 N・A・S・A・浦沢直樹・小学館
 聲の形・大今良時・講談社
 銀のスプーン・小沢真理・講談社
 悪の華・押見修造・講談社
 ワンピース・尾田栄一郎・集英社
 金田一少年の事件簿・金成陽三郎・講談社
 太陽の黙示録・かわぐちかいじ・小学館
 長い道・こうの史代・双葉社
 夕風の街桜の国・こうの史代・双葉社
 式十手物語 小池一夫 小学館
 ふくふくふにゃん・こなみかなた・講談社
 ちびまる子・さくらももこ・小学館
 神の力・さくらももこ・小学館
 動物のお医者さん・佐々木倫子・白泉社
 江戸前の匂・さとう輝・日本文芸社
 ブラックジャックによろしく・佐藤秀峰・講談社
 図書館の主・篠原ウミハル・芳文社
 同級生・紫門ふみ・小学館
 生徒諸君・庄司陽子・講談社
 め組の大吾・曾田正人・小学館
 新世界より・貴志 祐介・講談社
 めぞん一刻・高橋留美子・小学館
 WORKING・高津カリノ・スクウェアエニックス
 Pの悲劇・高橋留美子・小学館
 キャプテン翼・高橋陽一・集英社
 銀牙一流れ星銀一・高橋よしひろ・集英社
 地球へ・竹宮恵子・中公文庫コミック
 犬を飼う・谷口ジロー・小学館
 プレーボール・ちばあきお・集英社
 あしたのジョー・ちばてつや・集英社
 将太の寿司・寺沢大介・講談社
 光るとともに・戸部けいこ・秋田書店
 ドラゴンボール・鳥山明・集英社
 サザエさん・長谷川町子・朝日新聞社
 美味しんぼ・花咲アキラ・小学館
 RECレック・花見沢Q太郎・小学館
 ドラえもん・藤子・F・不二雄・小学館
 ヒカルの碁・ほったゆみ・集英社
 翔んで埼玉・魔夜峰央・白泉社

あぶさん・水島新司・小学館
 ドカベン・水島新司・秋田書店
 ドラゴン桜・三田紀房・講談社
 MAJOR・満田哲也・小学館
 千と千尋の神隠し・宮崎駿・徳間書店
 ものけ姫・宮崎駿・徳間書店
 風の谷のナウシカ・宮崎駿・徳間書店
 Dr.NOGUCHI・むつ利之・講談社
 家裁の人・毛利甚八・小学館
 はじめの一步・森川ジョージ・講談社
 浮浪雲・ジョージ秋山・小学館
 釣りキチ三平・矢口高雄・講談社
 水色の時代・やぶちゆう・小学館
 みどりのつばさ・やぶうち優・小学館
 天才柳沢教授の生活・山下相美・講談社
 Dr. コトー診療所・山田貴敏・小学館
 紅茶王子・山田南平・白泉社
 どんぐりの家・山本おさむ・小学館
 あさっての方向・山田J太・マッグガーデン
 さよならレフティ・山本おさむ・小学館

B 主として人との関わりに関すること

[思いやり, 感謝] [礼儀] [友情, 信頼] [相互理解, 寛容]

名探偵コナン・青山剛昌・小学館
 YAIBA・青山剛昌・小学館
 よつばと・あずまきよひこ・メディアワーク
 そふてにっ・あづち涼・マッグガーデン
 ショートプログラム・あだち充・小学館
 日当たり良好・あだち充・小学館
 タッチ・あだち充・小学館
 みかん・絵日記・安孫子三和・白泉社
 銀の匙・荒川弘・小学館
 キンデイヤンディ・いがらしゆみこ・講談社
 もやしもん・石川雅之・講談社
 ピアノの森・一色まこと・講談社
 かなもめ 石見翔子 芳文社
 リアル・井上雄彦・集英社
 スラムダンク・井上雄彦・集英社
 7人のナナ・今川泰宏・秋田書店
 コボちゃん・植田まさし・芳文社
 クッキングパパ・うえやまとち・講談社
 オコジョさん・宇野亜由美・白泉社
 3月のライオン・羽海野チカ・白泉社
 ハチミツとクロバー・羽海野チカ・白泉社
 仏ガチャンヨク・浦川まさる・集英社
 N・A・S・A・浦沢直樹・小学館

聲の形・大今良時・講談社
 銀のスプーン・小沢真理・講談社
 悪の華・押見修造・講談社
 ワンピース・尾田栄一郎・集英社
 金田一少年の事件簿・金成陽三郎・講談社
 太陽の黙示録・かわぐちかいじ・小学館
 長い道・こうの史代・双葉社
 夕風の街桜の国・こうの史代・双葉社
 式十手物語 小池一夫 小学館
 ふくふくふにゃん・こなみかなた・講談社
 ちびまる子・さくらももこ・小学館
 神の力・さくらももこ・小学館
 動物のお医者さん・佐々木倫子・白泉社
 江戸前の匂・さとう輝・日本文芸社
 ブラッグジャックによるしく・佐藤秀峰・講談社
 図書館の主・篠原ウミハル・芳文社
 同級生・紫門ふみ・小学館
 生徒諸君・庄司陽子・講談社
 め組の大吾・曾田正人・小学館
 新世界より・貴志 祐介・講談社
 めぞん一刻・高橋留美子・小学館
 WORKING・高津カリノ・スクウェアエニックス
 Pの悲劇・高橋留美子・小学館
 キャプテン翼・高橋陽一・集英社
 銀牙一流れ星銀一・高橋よしひろ・集英社
 地球へ・竹宮恵子・中公文庫コミック
 犬を飼う・谷口ジロー・小学館
 プレーボール・ちばあきお・集英社
 あしたのジョー・ちばてつや・集英社
 将太の寿司・寺沢大介・講談社
 光るとともに・戸部けいこ・秋田書店
 ドラゴンボール・鳥山明・集英社
 サザエさん・長谷川町子・朝日新聞社
 美味しんぼ・花咲アキラ・小学館
 RECレック・花見沢Q太郎・小学館
 ドラえもん・藤子・F・不二雄・小学館
 ヒカルの碁・ほったゆみ・集英社
 翔んで埼玉・魔夜峰央・白泉社
 あぶさん・水島新司・小学館
 ドカベン・水島新司・秋田書店
 ドラゴン桜・三田紀房・講談社
 MAJOR・満田哲也・小学館
 千と千尋の神隠し・宮崎駿・徳間書店
 ものけ姫・宮崎駿・徳間書店
 風の谷のナウシカ・宮崎駿・徳間書店
 Dr.NOGUCHI・むつ利之・講談社
 家裁の人・毛利甚八・小学館
 はじめの一步・森川ジョージ・講談社

浮浪雲・ジョージ秋山・小学館
 釣りキチ三平・矢口高雄・講談社
 水色の時代・やぶち優・小学館
 みどりのつばさ・やぶうち優・小学館
 天才柳沢教授の生活・山下相美・講談社
 Dr. コトー診療所・山田貴敏・小学館
 紅茶王子・山田南平・白泉社
 どんぐりの家・山本おさむ・小学館
 あさっての方向・山田J太・マッグガーデン
 さよならレフティ・山本おさむ・小学館

C 主として集団や社会との関わりに関すること

[遵法精神, 公德心] [公正, 公平, 社会正義]
 [社会参画, 公共の精神] [勤労]
 [家族愛, 家庭生活の充実]
 [よりよい学校生活, 集団生活の充実]
 [郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度]
 [我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度]
 [国際理解, 国際貢献]

こちら亀有公園前派出所・秋本治・集英社
 今際の国のアリス・麻生羽呂・小学館
 そふてにっ・あづち涼・マッグガーデン
 おもいでぼろぼろ・アニメ編集部・徳間書店
 タッチ・あだち充・小学館
 キャンディキャンディ・いがらしゆみこ・講談社
 もやしもん・石川雅之・講談社
 かなもめ・石見翔子・芳文社
 お前はまだガンマを知らない・井田ヒト・新潮社
 リアル・井上雄彦・集英社
 コボちゃん・植田まさし・芳文社
 クッキングパパ・うえやまとち・講談社
 オコジョさん・宇野亜由美・白泉社
 ハチミツとクロバー・羽海野チカ・白泉社
 N・A・S・A・浦沢直樹・小学館
 聲の形・大今良時・講談社
 中華一番・小川悦司・講談社
 金田一少年の事件簿・金成陽三郎・講談社
 太陽の黙示録・かわぐちかいじ・小学館
 長い道・こうの史代・双葉社
 夕風の街桜の国・こうの史代・双葉社
 式十手物語 小池一夫 小学館
 ふくふくふにゃん・こなみかなた・講談社
 動物のお医者さん・佐々木倫子・白泉社
 ブラッグジャックによるしく・佐藤秀峰・講談社
 図書館の主・篠原ウミハル・芳文社

トリコ・島袋光年・集英社
 め組の大吾・曾田正人・小学館
 新世界より・貴志 祐介・講談社
 HUTER×HUNTER・富樫義博・集英社
 めぞん一刻・高橋留美子・小学館
 WORKING・高津カリノ・スクウェアエニックス
 Pの悲劇・高橋留美子・小学館
 キャプテン翼・高橋陽一・集英社
 地球へ・竹宮恵子・中公文庫コミック
 犬を飼う・谷口ジロー・小学館
 プレーボール・ちばあきお・集英社
 あしたのジョー・ちばてつや・集英社
 将太の寿司・寺沢大介・講談社
 光るとともに・戸部けいこ・秋田書店
 サザエさん・長谷川町子・朝日新聞社
 美味しんぼ・花咲アキラ・小学館
 ドラえもん・藤子・F・不二雄・小学館
 ヒカルの碁・ほったゆみ・集英社
 翔んで埼玉・魔夜峰央・白泉社
 あぶさん・水島新司・小学館
 ドカベン・水島新司・秋田書店
 MAJOR・満田哲也・小学館
 千と千尋の神隠し・宮崎駿・徳間書店
 もののけ姫・宮崎駿・徳間書店
 風の谷のナウシカ・宮崎駿・徳間書店
 Dr.NOGUCHI・むつ利之・講談社
 家裁の人・毛利甚八・小学館
 はじめの一步・森川ジョージ・講談社
 浮浪雲・ジョージ秋山・小学館
 釣りキチ三平・矢口高雄・講談社
 みどりのつばさ・やぶうち優・小学館
 天才柳沢教授の生活・山下相美・講談社
 Dr. コトウ診療所・山田貴敏・小学館
 どんぐりの家・山本おさむ・小学館
 さよならレフティ・山本おさむ・小学館

D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること

[生命の尊さ] [自然愛護] [感動, 畏敬の念]
 [よりよく生きる喜び]

もやしもん・石川雅之・講談社
 お前はまだガンマを知らない・井田ヒト・新潮社
 コボちゃん・植田まさし・芳文社
 クッキングパパ・うえやまとち・講談社
 中華一番・小川悦司・講談社
 太陽の黙示録・かわぐちかいじ・小学館

夕風の街桜の国・こうの史代・双葉社
 動物のお医者さん・佐々木倫子・白泉社
 ブラックジャックによろしく・佐藤秀峰・講談社
 トリコ・島袋光年・集英社
 め組の大吾・曾田正人・小学館
 HUTER×HUNTER・富樫義博・集英社
 地球へ・竹宮恵子・中公文庫コミック
 美味しんぼ・花咲アキラ・小学館
 ドラえもん・藤子・F・不二雄・小学館
 翔んで埼玉・魔夜峰央・白泉社
 千と千尋の神隠し・宮崎駿・徳間書店
 もののけ姫・宮崎駿・徳間書店
 風の谷のナウシカ・宮崎駿・徳間書店
 釣りキチ三平・矢口高雄・講談社
 みどりのつばさ・やぶうち優・小学館
 さよならレフティ・山本おさむ・小学館

8. まとめ

学校における授業は常に生徒に最高のものを提供しようと教材研究をし、万全の体制で望んでいると思われる。道徳も決して軽んじているわけではなく、道徳という教科の特性として他の教科にない様々な課題がある。道徳以外の教科は、授業の中で、生徒が分かっていないことを教員が教えていくことである。しかし、道徳は生徒の生育や環境からもっている価値に働きかけ、その生徒一人一人に感動させるような授業を提案しなければならず、他の教科とはかなり異質の内容である。また、授業内容のテーマが壮大で、教材研究の方向性すらないのが現状であり、かなりの時間がかかってしまうと考えられる。本稿では道徳内容に沿った教材を発見開発する時間を少しでも短縮し、生徒の身近なわかりやすい漫画に目を向け、教材を提案することで、道徳内容により授業の深まり、「考える道徳」、「議論する道徳」の授業の創造ができれば幸いである。また、道徳内容に対する漫画の一覧は一例であり、その他さらに道徳的価値の合致した漫画もあると思われる。一方で、感性によって不適切と考えられるものもあると思われる。漫画の内容の中で、教材として、部分採用できるが、道徳資料として不適切なものの中には存在する可能性があると考えられる。

道徳の授業に携わる教員の資料選定が道徳の授業を決めると言っても過言ではない。適切な資料選定が求められると考えられる。本稿が道徳の授業に携わる教員の資料選定の一助になれば幸いで

ある。

引用・参考文献

- [1]文部科学省. 中学校学習指導要領解説特別の教科 道徳編. 2015,p1-115.
文部科学省
- [2]本田実.道徳教育者に求められるもの ~中学校の「道徳教育に携わるもの」として.星稜論苑第46号, 2017, p 39-59.
- [3]村田俊明.「道徳教育の研究」授業の実践について: 中学校「道徳」の学習指導案と発問づくり. 摂南大学教育学研究, 3, 2007, 63-76.
- [4]佐藤伸彦.コールバーグの道徳性発達理論と法的発達—第5段階と刑事司法の特質との関係から—*Core Ethics Vol.13, 2017.
- [5]文部科学省.中学校学習指導要領 (平成29年告示).2017,p1-327.
- [6]八幡恵. 道徳の教科化と指導法.東北学院大学教養学部論集,174, 2016, p63-76.
- [7]文部科学省.中学校学習指導要領 (平成29年告示). 2017, p1-327.
- [8]吉田誠・岩田栄彦・田中美枝子.道徳授業における感動資料の教材分析方法の検討—図式化と課題焦点化ループリックによる方法—山形大学紀要 (教育科学) 第16巻第1号別刷平成26年(2014年)2月, Bull. of Yamagata Univ., Educ. Sci., Vol. 1 No. 1, February 2014, p29-46.
- [9]榊原岳.日本の中学校における道徳教育の現状と課題.日本大学大学院総合社会情報研究科紀要,16, 2015, 157-166.

(受付日: 2018年11月30日, 受理日: 2018年12月13日)

森近 利寿 (もりちか としひさ)

現所属: ISNA 日本スノーブレン総合研究所サポート研究員
元広島県立教育センター特別支援教育・教育相談部指導主事

鳴門教育大学大学院学校教育研究科教育臨床コース修了.
専門は臨床心理学. 社会福祉. 特別支援教育.